

建築 DX の最前線！

マンションの未来体験スペース「H/DTL」オープン

長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、代表取締役社長：熊野 聡、以下「当社」）は、マンションの未来体験スペース「H/DTL（長谷工デジタルテクノロジーラボ、以下「当施設」）」を当社が保有・運営するデベロッパー向けプレゼンテーションスペース「LIPS（東京都）」内にオープンしました。今後、当施設において、長谷工版 BIM をベースとした最先端のデジタル技術を活用し、リアルとバーチャルの融合による新たなマンション販売・商品展示・設計・生産手法を創造・発信してまいります。

■累計 10 万戸を超える BIM 設計実績、進化し続けるデジタル技術

当社は、施工累計 71 万戸超*の実績を誇るマンション建設最大手として、BIM 技術を駆使しながら未来の建築 DX を推進しています。2020 年に設計段階で、2021 年に施工段階で完全 BIM 体制を確立。これまでに BIM で実施設計を行った案件は 10 万戸を超え、この膨大なデータとノウハウを活用する新たな挑戦を始めています。

■五感で感じる最先端技術の世界！「H/DTL」の魅力

新たに誕生した「H/DTL」では、次世代マンションの販売・設計・施工体験を提供します。

- VRシアター：2.7m×8mの超高解像度 LED 画面で、没入感抜群の 3D 体験！
- バーチャルラボ：最新ヘッドマウントディスプレイを活用し、仮想住宅をリアルに体感。
- 提案型モデルルーム：AR・MR 技術でリアルな空間にバーチャル映像を重ね、新たな販売手法を実現。
- フィジカルラボ：3D プリンタやレーザーカッターを使い、デジタルデザインをリアルなモックアップに変換。

■進化し続ける BIM 技術 × 最新デジタルツイン

当施設オープンに伴い、「BIM デジタルツインプラットフォーム」の構築にも着手。長谷工版 BIM と膨大なデータベースを統合し、メタバースを活用した新たな販売手法へ展開。将来的にはマンションの維持管理やエンドユーザー向けのサービス拡大も視野に入れていきます。

■リアル×バーチャルの融合で、マンション DX を加速！

H/DTL の誕生により、長谷工グループは設計・施工だけでなく、マンション販売・管理・修繕まで、DX 化を推進。業界に先駆けてデジタル技術を駆使し、マンション事業のさらなる価値創造を目指します。



H/DTL 内観写真

【H/DTL 各コーナー概要】



VR シアター

2.7m×8mの LED 大型モニターに高解像度な BIM モデルを映し出し滑らかな没入体験を可能としました。画面だけでも材料の色決めが出来るところまで高品質な色彩表現を実現しております。



提案型モデルルーム

次世代販売手法 映像イメージ

実物のモデルルームの壁や床に AR・MR を重ねて投影させることで新たな販売手法を実現させました。またタブレットと AI ボットを組み合わせた AR の商品紹介コンテンツも開発し、展示しております。



バーチャルラボ 映像イメージ

ヘッドマウントディスプレイ を8台常設し、マンションの間取りを 1/5 のドールハウスのような見方と 1/1 の VR での見方に切り替えて体感できるコーナーになります。



フィジカルラボ

3D プリンタやレーザーカッターをつかって、デジタルで検討したものをモックアップに落とし込み、フィジカルな動作でモノづくりを進められる実物だからこそその直感的な検討が可能となっています。